

森アートセンターギャラリー エキジビション・ディレクター 中山三善さん



「フェルメールとレンブラント：17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち展」

皆さんは「フェルメールがカメラを使って絵を描いていた」と言ったらビックリされるでしょうか。

もちろんこの時代にはまだフィルムはありません。フェルメールが使っていたのは、カメラ・オブスクラと呼ばれる光学器械です。針穴写真機（ピンホールカメラ）のような物といったらお分かりになりやすいでしょうか。

フェルメールの作品をよく観察していただくと、ピントが合っている部分と、ややぼけた所があることにお気付きになるでしょう。

多くの方がフェルメールの作品は「まるで写真の様に美しい」と仰います。

どうぞ皆さんの眼でフェルメール作品の秘密を探ってみてください。

「フェルメールとレンブラント：17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち展」は、六本木ヒルズ森タワー52階の「森アートセンターギャラリー」にて開催中です。

(2016.03.28)



いよいよ3月31日まで！音声ガイドもオススメです

《水差しを持つ女》と《ペローナ》、日本初公開となった注目の2作品が鑑賞できるのも、いよいよ3月31日までとなりました。絵画のことがよくわからないという方には、俳優・玉木宏さんがナビゲーターを担当している音声ガイドがオススメです。絵画の横には作品の解説が書かれていますが、その解説に掲載しきれなかったことも音声ガイドで聞くことができます。

この展覧会ではフェルメール、レンブラントを始め、17世紀オランダを彩った画家たち48作家の作品を通して、当時の文化や人々の生活を紹介しています。作品は、「1章 ハーレム、ユトレヒト、アムステルダムーオランダ黄金時代の幕開け」「2章 オランダ黄金時代」「第3章 レンブラントとレンブラント派」「第4章 オランダ黄金時代の終焉」と、それぞれ年代順・テーマに分けて展示されています。

また、サンリオのキャラクター「ぐでたま」とコラボしたキーホルダーや、世界最大級の高級陶磁器メーカー「ノリタケカンパニーリミテド」とコラボした《水差しを持つ女》をイメージさせるオリジナルのカップ&ソーサーセットなど、ここでしか手に入らないグッズも販売しています。

まだ鑑賞したことがない方はもちろん、すでに一度鑑賞された方も、ぜひもう一度足を運んでみてください。

開催概要

- 期間：2016年1月14日（木）～3月31日（木）
- 時間：10:00～20:00 ※入館は閉館30分前まで
- 場所：森アートセンターギャラリー（六本木ヒルズ森タワー52階）
- 入場料：一般 ¥1,600、高校・大学生 ¥1,300、4歳～中学生 ¥600
- 主催：TBS、朝日新聞社、森アートセンター
- ▶ フェルメールとレンブラント：17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち展

プロフィール



石橋財団ブリヂストン美術館 学芸員、東京ステーションギャラリー主任学芸員として、展覧会の企画・運営等を担当後、2002年に森ビル入社。2004年森アートセンターギャラリーの発足に伴い、同ギャラリー運営室長に就任。2012年より森アートセンターギャラリー エキジビション・ディレクターに就任。